

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	その人らしい暮らしの実現を支援する。	本人の思いや意志を尊重し、心身状況に配慮して、それぞれのペースに合わせた生活をして頂くように支援する。	① 本人様の得意な事を見つける。 ② 心身の状況に合わせて役割を持った生活ができるように支援する。 ③ 過去の生活歴を職員間で情報共有する。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組みを図る。	職員一人一人が内外の研修に参加することで専門的な知識を高める。また利用者様の個々のADLやBPSDを正確に把握し情報共有を進めより質の高いケアの向上を図る。	① 「サービス向上委員会」の継続 ② 研修体制のさらなる充実を図る。 ③ 職員がより利用者の状態を把握しやすいように書式の変更を行う。	12ヶ月
3	52	居心地の良い共用空間を創る。	個々の利用者様がよりよく快適に過ごしていただくための住環境づくりを実施していく。	① 食事を行うテーブルとくつろげるスペースを別にすることで生活の充実を図る。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。